

# 健康と医療

神田医師会

千代田区神田小川町 2-8 TEL 03 (3291) 0450

## ●● COVID-19 感染症流行下の嗅覚障害 ●●

——— 神尾記念病院 耳鼻咽喉科 本岡太心 ———

COVID-19 感染症が最初に世界的流行を示した 2020 年初頭、COVID-19 患者において高率に嗅覚・味覚障害が発生することが報じられました。その頻度は約 8 割に上るという報告もあり、嗅覚味覚障害 = COVID-19 感染と認識されている方も多いかもしれません。

しかし、様々な変異株の出現により、主要症状も変化して来ており、2022 年 1 月ごろより流行したオミクロン株では当初に比べて嗅覚味覚障害の出現割合は減少していると報告されています。実際に 2022 年 1 月から 3 月まで当院で抗原検査陽性となった患者の内、嗅覚味覚障害の訴えのあった患者の割合はわずか 3.3% でした。

### 嗅覚味覚障害が出現した場合

では嗅覚味覚症状が出現した場合、急いで治療は必要なのでしょうか。

報告によると COVID-19 による嗅覚・味覚障害自体は自然に回復するケースが多く、約 60~80% の方が 2 週間以内に回復するとされています。

また嗅覚障害の原因は COVID-19 感染だけではなく、実は他の疾患が隠れていたというケースも少なくありません。原因疾患として多いものとしては、慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎などが代表的ですが、これらの有無、鑑別を行うためには、内視鏡での鼻内観察や副鼻腔 CT 検査、嗅覚検査などを詳しく行う必要があります。

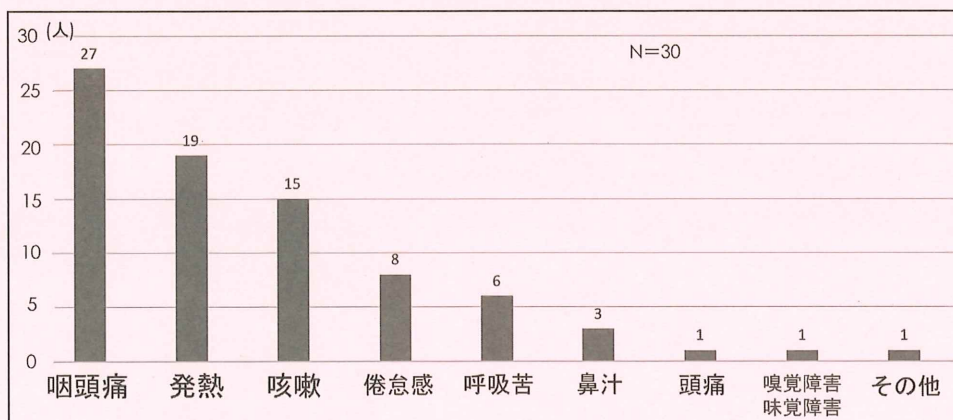


図1 当院における2022年1月から3月までの抗原検査陽性者の症状

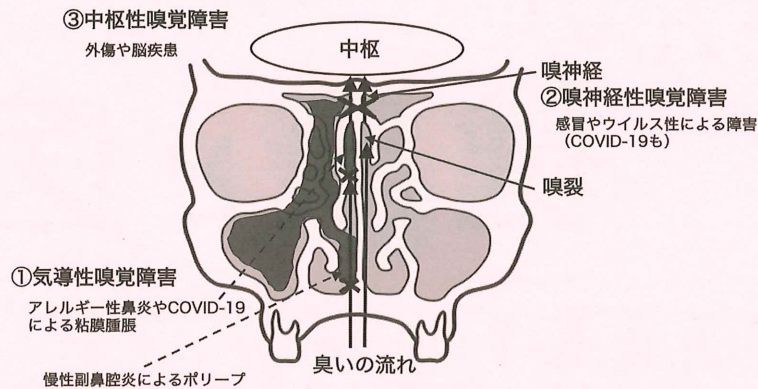


図2 嗅覚障害の種類

ですので、決して治療を急ぐ必要はありませんが、症状が2週間以上経過しても改善しない場合は耳鼻咽喉科受診をオススメします。

## 嗅覚・味覚障害の治療

原因疾患がはっきりした場合、例えば慢性副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎がわかった場合はその治療を行います。原因疾患の改善により嗅覚・味覚障害の改善が期待できます。

COVID-19感染が原因と考えられる場合ですが、残念ながら現在のところCOVID-19による嗅覚障害の確立された治療法は報告されておらず、感冒後嗅覚障害の治療に準じて治療を行うケースがほとんどです。具体的には以下のような治療になります。

### ① ステロイド点鼻

COVID-19感染症による嗅覚障害では、画像診断で臭いを感じる嗅裂という部位の腫脹を認めるという報告があります。抗炎症、腫脹改善目的に行います。

### ② 内服治療

ビタミン製剤、代謝改善薬、亜鉛製剤、漢方製剤などを使用します。

### ③ 嗅覚刺激療法

元々は欧州で提唱された方法です。原法ではバラ、ユーカリ、レモン、クローブの臭素を1日2回嗅いでもらうというトレーニング方法です。このトレーニングで感冒後嗅覚障害の約30%が改善するという報告が

あります。またトレーニングを継続することで24週経過の時点でトレーニングをしない場合に比べて優位な差が出るとされています。原法の臭素は日本ではあまり馴染みがないものですので、当院では色々な身の回りの臭いを意識して積極的に嗅いでもらうようにしています。

## 最後に

嗅覚障害はQOLに多大な影響を及ぼし、嗅覚障害者の約40%が日常生活に不満を抱いているとされています。その内容には調理や食生活に関わる障害の訴えが多く、飲食が楽しめなくなるなど、QOLに大きく影響を与えてしまいます。異嗅症を伴っている慢性副鼻腔炎患者ではうつ傾向が強いことなども報告されています。ただでさえ外出、会食制限やマスク着用など、徐々に緩和して来ているとはいえ、憂鬱な気分になりがちな状態が続いています。嗅覚の症状でお困りの方は是非一度耳鼻咽喉科を受診していただき、ご相談いただければと思います。



実際の検査の様子